

《福沢自治会》

年月日 令和7年10月16日(木)
時 間 午後6時30分～午後8時
場 所 福沢公民館
町民出席者数 20名

- ① 開会あいさつ：副町長（内容省略）
- ② 町長あいさつ：（内容省略）
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談
 - (1) 令和7年度町政懇談会事前質問に対する回答
 - (2) 政策等に関する意見交換

質問1 敬老会について、11月3日に福沢地区では敬老会を実施するが、対象者200名に対して、出席者は約1/5の38名。来年度見直しをお願いしたい。

【町長】

回答1 案内をいただき出席していますが、どの地区でも同じような状況。飯坂地区では参加者が2名でした。その他の方は自治会の役員が配って歩いている。敬老という言葉も馴染まなく、福島市や伊達市月舘町などは違う名称としている。桑折町では敬老会はすべて辞めている。また主催者となっていた町の婦人会もどんどん解散していつている状況。今後はどんな方法でやるか、あるいは全面的に辞めるか検討中である。

質問2 木の伐採について、他の自治体を参考にしながらというのは、他の自治体でやっていなければやらないのか。

質問3 イノシシ対策の電気柵の耐用年数は。設置から10年ほどたっているが、更新は対象になるのか。

【農林振興課長】

回答2 耐用年数があるのか、また何年なのかと、更新が対象になるかは調べて後日回答とさせていただきたい。

【建設水道課長】

回答3 近隣市町村を調べると、草刈りについての報償費を出しているところはない。県と福島市では大型の機械、リモコンや乗用のタイプの貸し出しを実施しているところですが、これも高齢化により対応が難しい。町の方では、トラクターにつける除草や枝払いができる機会について導入を検討していて、近隣市町村を参考というのはその機械導入についてどういうものかということを検討しております。

【町長】 なお、林道や町道などで通行に支障があるものについては町で切らせてもらっています。

意見 ニワウルシについて、成長が早く繁殖力があり、クヌギや檜木の成長を妨げるなど、悪影響を及ぼすため、早期の伐採が必要である。町に伐採をやってほしいということではないが、土地の所有者等に向けて見つけたら早めに伐採をしてほしいというような対策についての広報をお願いしたい。また県道の法面などについては県へ働きかけを行ってほしい。

質問4 コードFについて、美術館がポイントになっている。来館者も増え、館内を見ていただく機会も増えたため良かったと思うが、10時開館のところ9時にやってきた方がいたり、閉館5時のところそれより遅くやってくる人もいる。総括及び振り返りをしっかりやってほしい。

質問5 福沢地区では山開きや夏祭りを自治体が主体となって頑張っているため、財政定期的な支援をしていただきたい。

質問6 健康診断のインターネット申し込みを行っていると思うが、受診率の実績は。またアフターケアの体制はどうなっているか。

質問7 ハーベストについて、大手の業者を呼ぶこと等商業主義となっていないか。また農薬のチェックはしているのか。

質問8 ごみについて、イベントの中ではどういう処理をしているのか。

質問9 学童保育について、全庁的に地域に根ざしたものにしてほしい。もう1カ所2カ所ほしい。

【政策推進課長】

回答4 コードFは県の事業で町は参加している。令和元年のポイントは山木屋地区で、参加者14,000人、4年度は4,400人、5年度は6,300人、6年度は3,700人が参加している。事業が続く限り参加し、各地区を順番にポイントにしていきたい。

【総務課長】

回答5 昨年度にもそういった要望はあり、助成金について見直しをしました。世帯割について1世帯当たり1,000円から1,200円とした。福沢地区では若干の増額となっている。

【保健福祉課長】

回答6 令和6年度はネット予約が388件、電話や来庁での予約が668件と約4割となっております。受診率は45%で、前年から横ばいとなっている。令和7年度は6月の集団検診時ネット予約は約4割程度でした。受診後には重症化予防指導ということで、保健師、栄養士、在宅保健師に依頼し実施している。

【農林振興課長】

回答7 ハーベストについては令和5年度から町でも補助金を交付している。農薬使用の有無等は確認していないが、財政支援をしているところもあるので、確認していく。

【子育て支援課長】

回答8 楽しい教室は文部科学省の管轄で、地域の皆さんと一緒に子供たちに対する教育的な地域の資源を使った豊かな放課後の居場所づくりをやっているという事業です。川俣町は他の市町村に比べ回数がとても多く、保護者にとってありがたい場所だと思う。一方で町では学童保育のわいわいクラブを設けて実施している。待機児童もなく住み分けもできていると思われる。楽しい教室はスタッフさんにはボランティアでお世話になっておりますが、財政的な支援もしながらやっていきたいと考えている。

【町民税務課長】

回答9 イベントのごみについて、町が関わっているものであれば町のごみとして排出している。事業に伴って出るものは事業者が有料で排出するが、町からの排出量としてカウントされる。川俣町は県内で一番多いが特殊な事情もある。刈った草はゴミに出さないで現場に置か、出す場合でも乾燥させてからにするなど、ごみの重量の削減に協力いただきたい。

質問 1 0 生ごみは乾燥のために放置するとイノシシ等が来てしまう。

【町民税務課長】

回答 1 0 生ごみのたい肥化ができるコンポスト購入に補助金を出しているので利用してほしい。それもなかなか難しい場合はギュッと絞ってからゴミにするだけでも違うのでお願いしたい。

質問 1 1 猫稻荷の社が建立されてから 140 年経っているため、傷みがひどく、つかえ棒でようやく自立している状況。氏子の数も 7~8 人で少なく修繕も難しい。社を守る手立てはないか。

質問 1 2 ふるさと納税について、減ってしまった要因は何か。

質問 1 3 町ホームページの福沢羽山について、大綱木からの登山道について整備していないため使用できないので修正してほしい。

【町長】

回答 1 1 町内の地区にも古い神社があり、地区で維持管理しているが、保存できなくなったので町で管理してほしいという要望には応えられない。指定文化財に対する補助が出せるかという部分については検討する。

【生涯学習課長】

回答 1 1 (補足) 町指定文化財については財政的な支援がある。猫稻荷については歴史的に非常に重要であると町は認識しており、調査を進める準備をしている。また、保存状態がいろいろちに赤外線カメラにより記録していく予定。ただ、建物についての支援は難しい。

【財政課長】

回答 1 2 リカバリーウェアという製品の返礼品の申し込みが多かった。町内製造が中止となったことから、影響が大きかった。令和 6 年度後半あたりから返礼品の充実を図り、現在では 100 品目くらいになっている。具体的には果物や米など。現在は 4,000 万円ほどの収入を見込んでいる。

【政策推進課長】

回答 1 3 ホームページを他の里山も含め早急に確認し、修正する。

意見 すべてが町で作成したものではないと思うが、イベントのチラシの地図が間違っていることが多い。

公文書も間違っていることが結構あるので、全員でチェックしてから出してほしい。

防災無線を流す際に、最初に何月何日だと入れてほしい。(戸別受信機についてか?)

質問 1 4 避難所開設について、福沢地区は 10 カ所ほど避難所があるが、どこを開けるのか、それともすべて開けるのか。また、備蓄品等について何をどういった感じで持ち込むのか。

【総務課長】

回答 1 4 実際の災害時にはまず各地区公民館を避難所として開設する。その際には各公民館に協力を依頼する、または町で合鍵は持っているため、そちらを使用するなどとしています。物品につきましては、毛布、水等を持っていく。公民館のスペースの問題もあるため、公民館に備蓄するというのは、それぞれの状況に応じて対応していく。

質問 1 5 楽しい教室について、他地区からも子供が来ているので人数が多く、静いが増える。そしてスタッフさんも対応しきれないし、他人の子供なので強く叱れない、といった状況になっている。さらにはその状況が学校であったときなどにも影響が出てくるようである。その場で解決できないような事態が起き、スタッフさんから報告があった場合、町はどのように対応するのか。

【子育て支援課長】

回答 1 5 スタッフの方からは、子供の元気が良すぎて追っかけられない、遠くまで行ってしまふなど、色々と話は聞いている。子供たちのトラブルについては、成長の過程でつきものなのかなとは思いますが、見過ごせない事例もあります。そういった事例の対処のためにスタッフさんに向けた研修等を実施した。子供への関わり方や教育的な環境についてなどスタッフさんで意識を共有いただいて、ルールを作り、子供たちにも浸透させていったらいいんじゃないかと考えている。

質問 1 6 各地区町政懇談会の議事録をホームページ等で公開はできないか。

【総務課長】

回答 1 6 同じような意見いただいている。今後検討させていただきたい。

⑤ 閉会のあいさつ：教育長（内容省略）